

## 議案第13号

# 令和5年度松田町一般会計予算 【討論】

### 反対討論

寺嶋 正 議員

令和5年度松田町一般会計予算について反対の立場から討論を行います。町の一般会計予算は51億9000万円で、前年度対比3億2000万円の減額となっています。歳入の主な町税は15億949万円、地方交付税13億円、国庫支出金5億6227万円、町債2億4600万円です。地方債の令和5年度末現在高見込み額は58億1097万円となって、町税は減少傾向にあり、自主財源の確保等に努め、町有地の有効活用、未利用地の住宅地への誘導などに取り組むことです。

課題として、消防松田分署土地購入事業では2億円かかり、その内、物件損失補償に要する経費として令和7年度まで1億1500万円の債務負担行為が行われています。後年度にリスクを先取りする債務負担行為はあまり好ましくないと思いますが、土地や建物の調査を行い交渉にあたることです。新松田駅周辺整備推進事業は、概算で49億円を見込んでいます。5年度は再開発組合の設立に向けた支援業務や駅前広場の基本設計、都市計画決定に係る図書作成業務等と基金積立金を合わせて2億8000万円を計上しています。当面、扶助費、公債費の増加、公共施設の老朽化による維持管理経費の増額など厳しい財政運営が予測され、町民サービスの低下を招かないような町政を行うことです。

いくつか問題点を述べておきます。A1オンデマンドバス交通の導入に向けた実証実験において、地域住民の移動の足を確保し、通院や買物の利便性が向上するように取り組むこと。寄地区の人口減少対策として、地域の活性化に向けた協議会を設置することでは、町民懇話会等で住民の声を聞き、仕事おこしや移住、定住事業の実施に向けた対策を練ること。町消防団は定員に対して不足しているので、町民の生命と財産を守る立場から充足すること。生徒や教員の安全を守る松田中学校警備員を2名削減しているので人員を配置することを申し上げて、一般会計予算の反対討論とします。

### 賛成討論

平野 由里子 議員

令和5年度一般会計予算は、小学校建設が完了したことにより昨年度より3億2000万円の減で、51億9000万円となっている。歳入では町税が1705万円の減となっており、主な原因は納税義務者の減少であるが、地方交付税が2億1500万円の増となりこれを補っている。町債の発行は昨年度より62.4%減、金額では4億880万円の減で2億4600万円となり、全体として持続可能な予算規模と判断する。

歳出については、新モビリティサービス推進事業として5883万円の予算が計上されており、本格的な高齢化社会を迎えようとしている当町にとって将来を見据えた交通サービスの実証実験として期待する。定住少子化対策支援事業については、新たにお試し住宅実施や空き家利活用のための改修・解体などを含め、1328万円が予算化されたことは評価に値する。出産・子育て応援事業では、国事業のほかに町独自の支援として新生児1人につき5万円、1～2歳児に3万円が給付されるだけでなく、妊娠期から子育て期まで切れ目のない相談支援事業が開始される。子育て世代から要望が多かった公園整備については、宮下公園のトイレ洋式化・遊具塗装、店屋場公園のトイレ洋式化、みやま運動広場の遊具整備などが予算化された。教育では外国語指導助手（ALT）を2名から4名に増員し、英語教育のさらなる充実が期待される。新松田駅周辺整備事業では、再開発組合の設立に向けての支援業務、駅前広場の基本設計などの予算が計上され、着実に歩を進めている。

令和5年度は松田町第6次総合計画「後期アクションプログラム」がスタートする年であり、一層の住民福祉向上が図られることとなる。

本予算はSDGs未来都市として、“誰一人取り残さない”ための編成になっており、掲げられた事業に意欲的に取り組まれることを期待して賛成討論といたします。



第6回 新松田駅北口周辺地域地権者検討会